

名古屋市立緑高等学校 学校評価アンケート（教員対象）

令和5年11月30日 まで実施

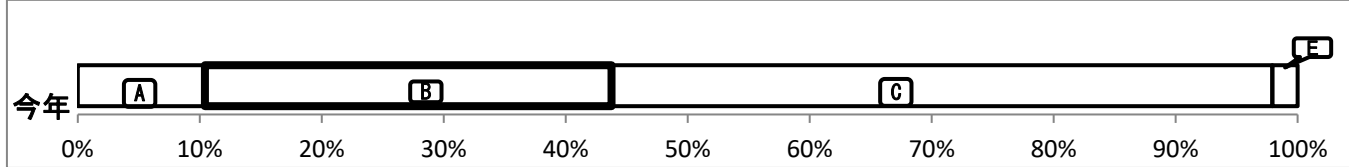
<回収数> R5年度 52名

凡例：A よくあてはまる B どちらかといえばあてはまる
 C どちらかといえばあてはまらない D 全くあてはまらない
 E 分からない

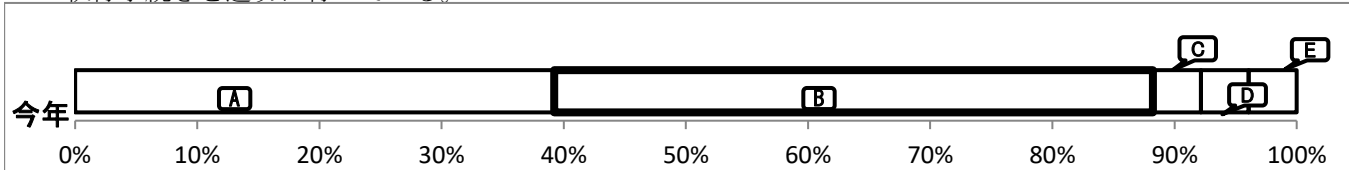
1. 緑高校の生徒は、毎日楽しく登校し、充実した学校生活を送っていると思われる。



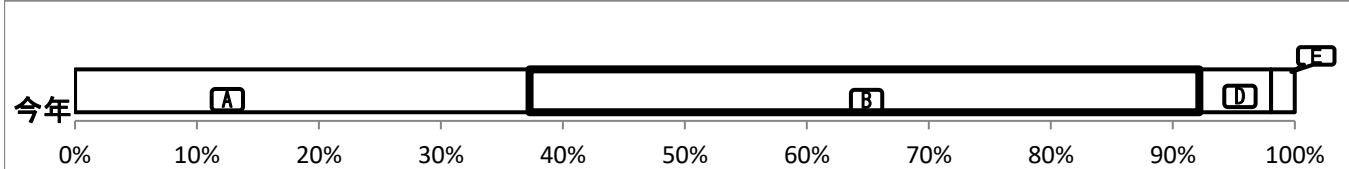
2. 緑高校は、施設や設備が充実し、学習・生活環境が整っている。



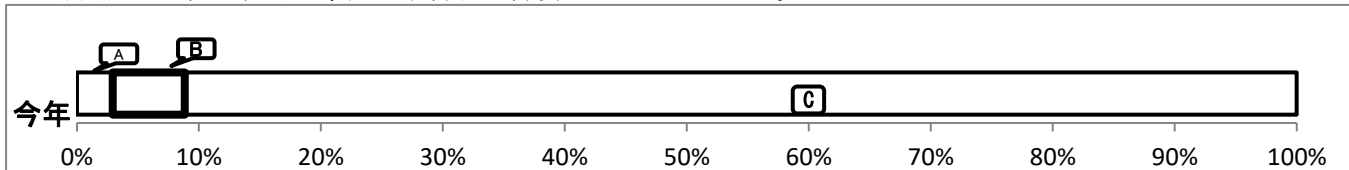
3. 適切に予算をたて、計画的に執行している。必要度の高いものから予算配当したり、執行手続きを適切に行っている。



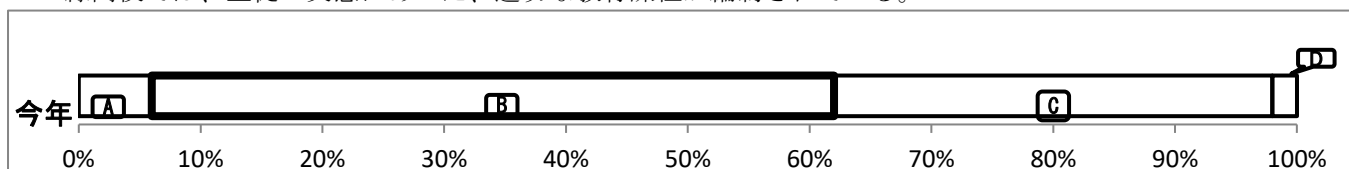
4. PTAと連携を図り、保護者への連絡や情報提供を適切に行う努力をしている。



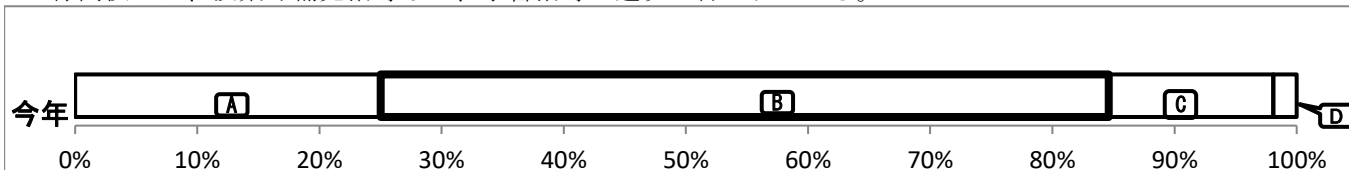
5. 緑高校の生徒は、毎日家庭で学習する習慣が身についている。



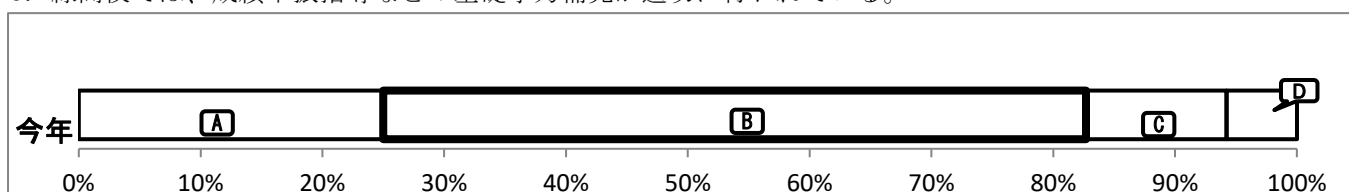
6. 緑高校では、生徒の実態にあった、適切な教育課程が編制されている。



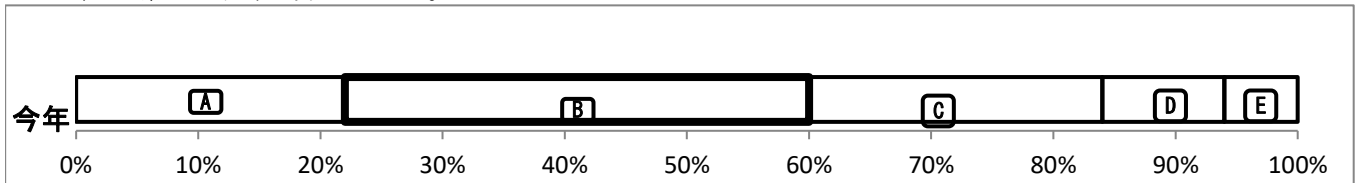
7. 緑高校では、授業や補充指導など、学習指導が適切に行われている。



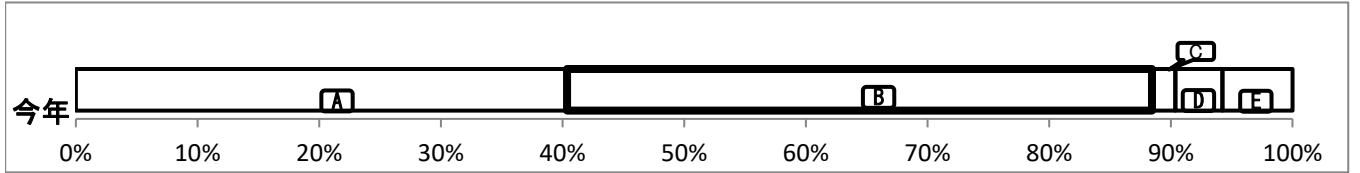
8. 緑高校では、成績不振指導などの基礎学力補充が適切に行われている。



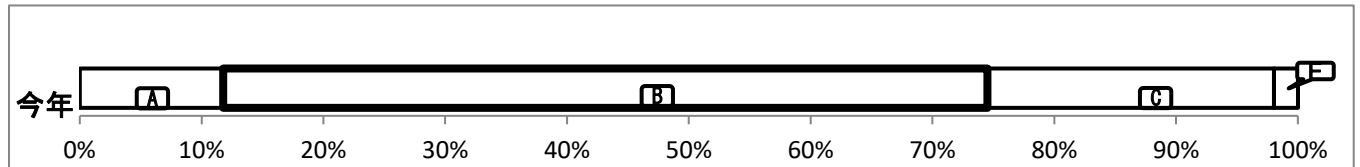
9. 教務的な立場で、他の分掌や学年会と連携し、学校ビジョンの実現に向けて、生徒理解及び指導に努めている。



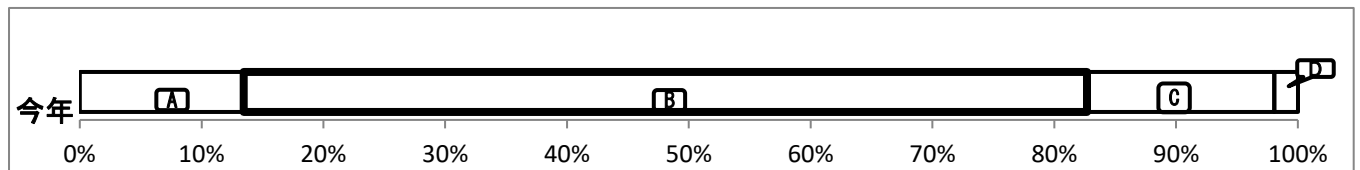
10. 校務支援システム（HEURIS）の活用を推進し、円滑な業務運営を目指している。



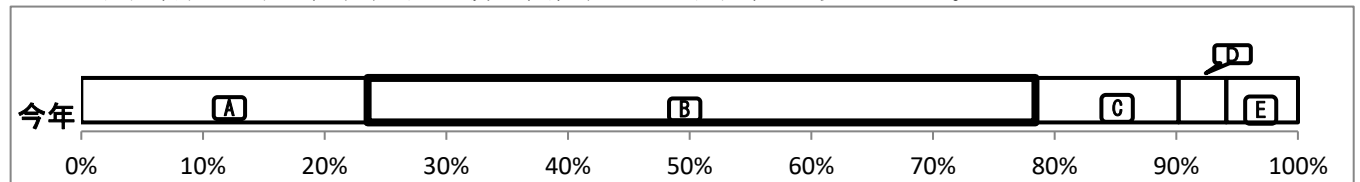
11. 緑高校では、意欲的に自主活動に取り組む生徒を育てる努力をしている。



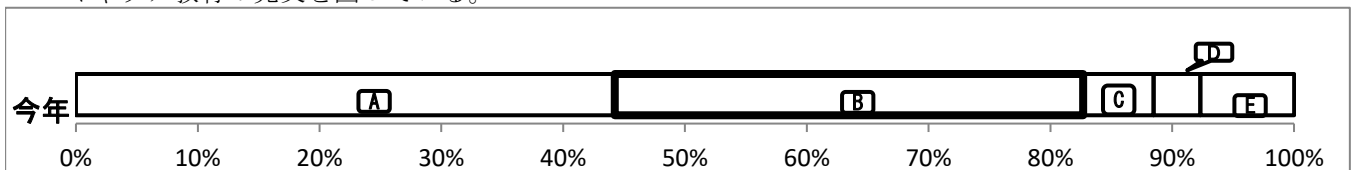
12. 緑高校では、個々の生徒に適したきめ細やかな進路指導に取り組んでいる。



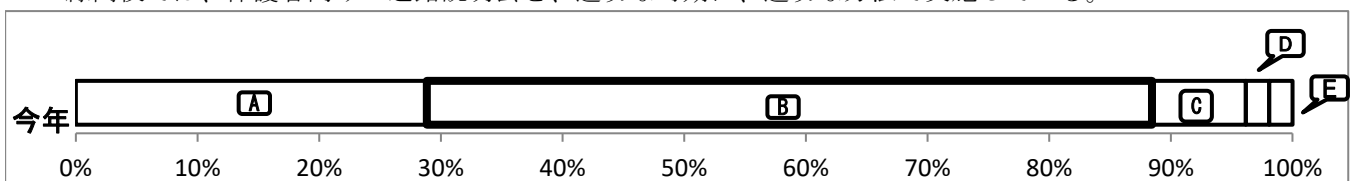
13. 進路指導部の立場で、学年会と連携し、効果的な進路指導を実現している。



14. キャリアナビゲーターやキャリア支援アドバイザーなどの制度を積極的に活用し、キャリア教育の充実を図っている。



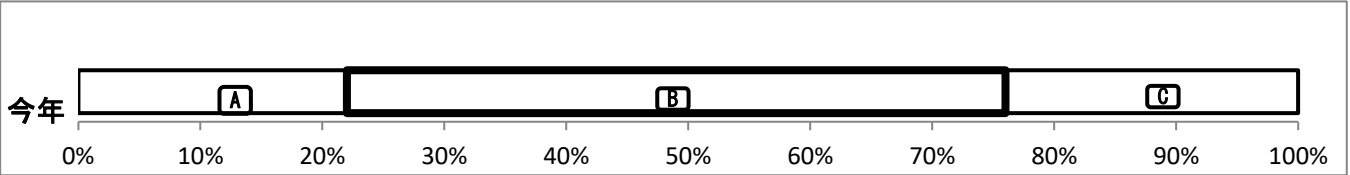
15. 緑高校では、保護者向けの進路説明会を、適切な時期に、適切な方法で実施している。



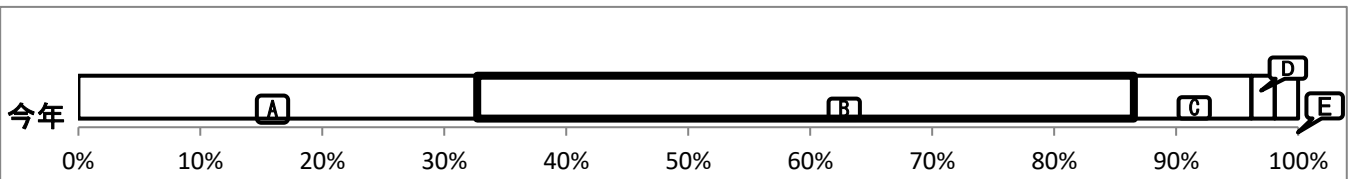
16. 緑高校では、社会のマナーを守る態度を身につけられるような教育に取り組んでいる。



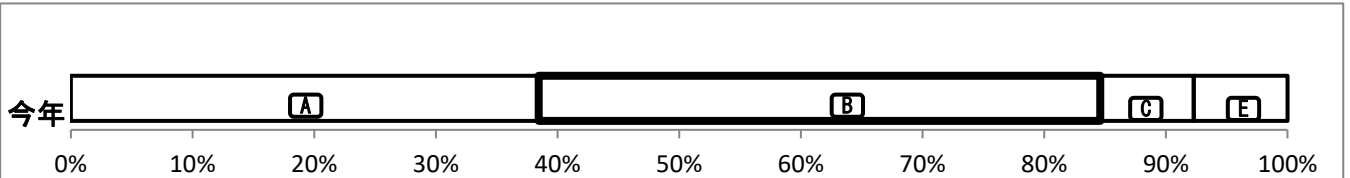
17. 緑高校では、服装や頭髪などの身だしなみ指導を適切に行っている。



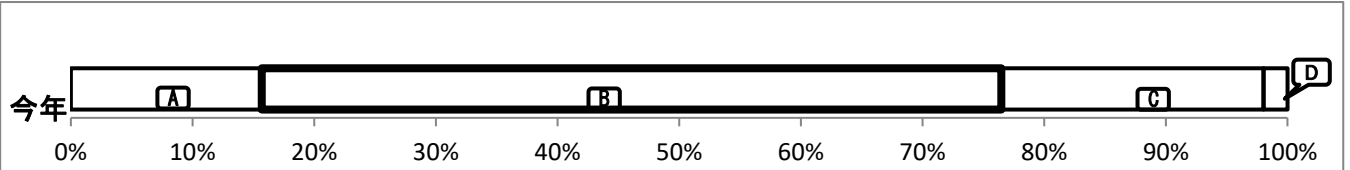
18. 緑高校では、時間管理を自覚できるように、遅刻指導を適切に行っている。



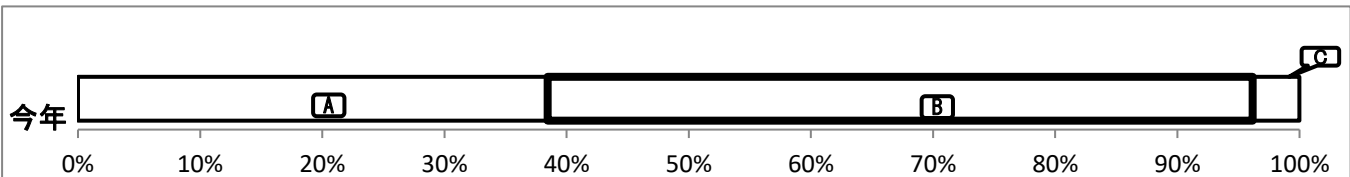
19. 自転車運転時のルールをはじめとする交通ルールを順守させ、交通事故防止の取組に努めている。



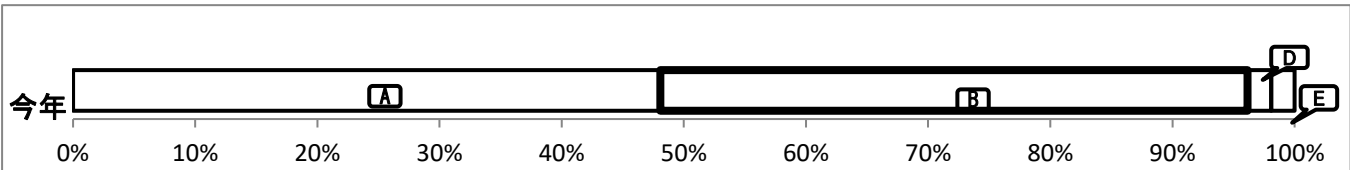
20. 緑高校では、教室・廊下・トイレが綺麗に清掃されており、学習・生活環境が整っている。



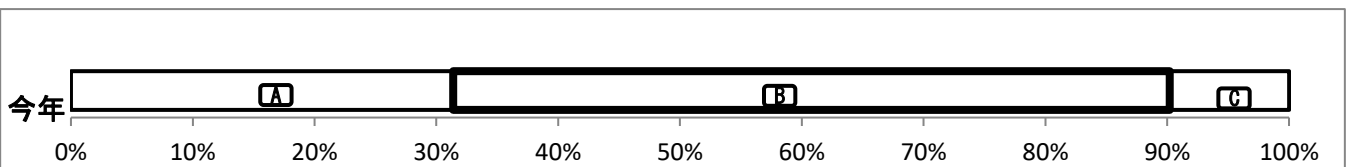
21. 緑高校では、生徒の悩みや相談に対して、適切に対応できる環境やシステムが整っている。



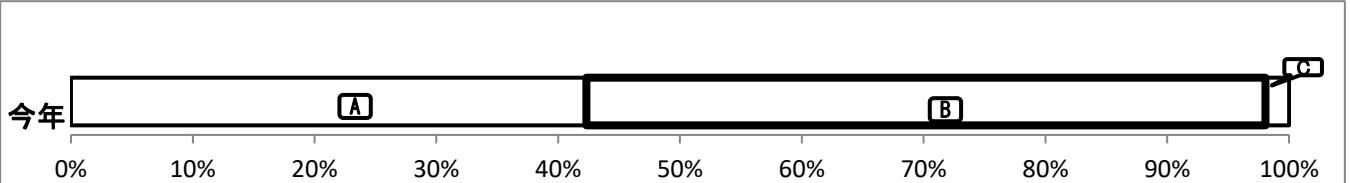
22. 緑高校では、心身ともに健康に生活できるように、健康診断などの保健活動が適切に行われている。



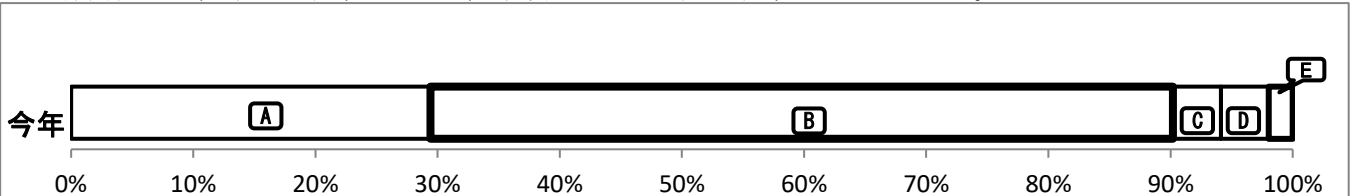
23. 緑高校では、スポーツ祭や文化祭などの生徒会活動が活発に行われている。



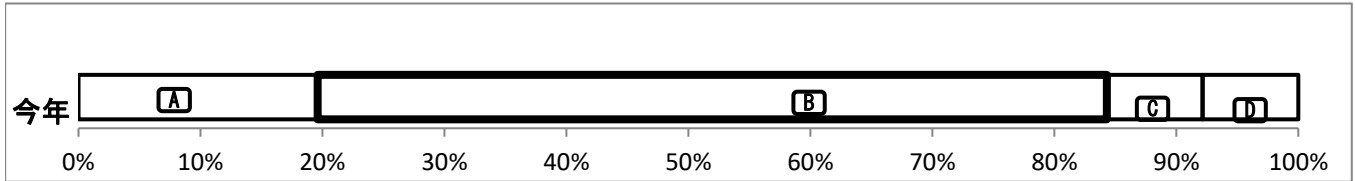
24. 緑高校では、遠足や研修旅行などの学校行事が、適切に実施されている。



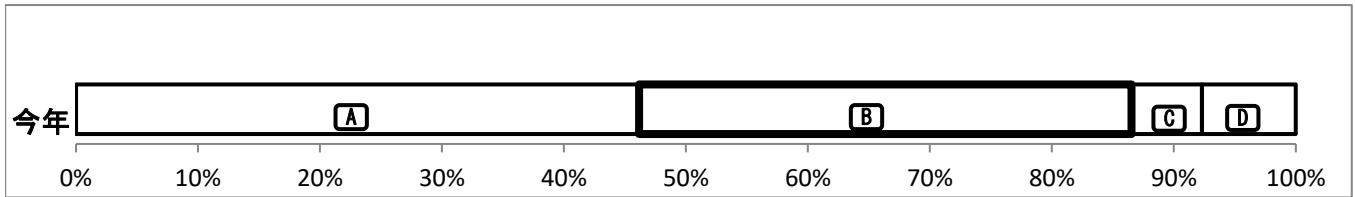
25. 緑高校では、部活動指導において、部顧問による適切な指導がなされている。



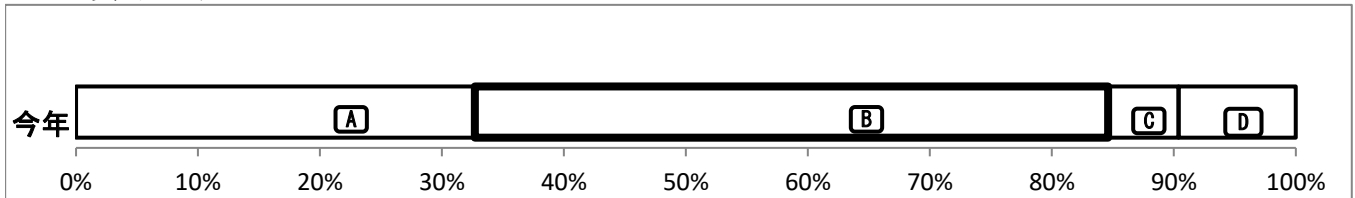
26. 緑高校では、部活動指導において、学習時間確保への配慮が適切になされている。



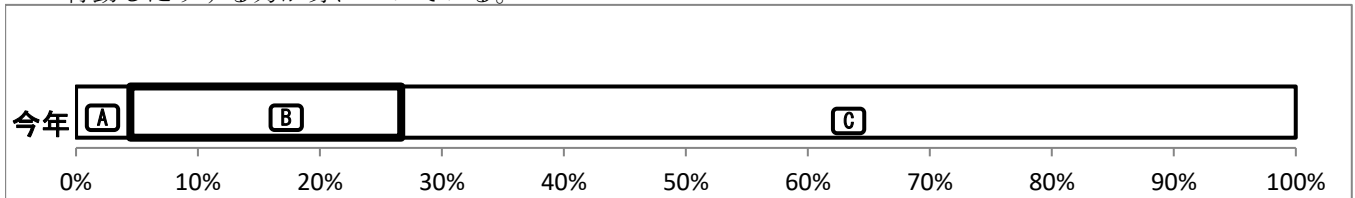
27. 緑高校の図書館は、利用のしやすさの工夫・読書指導・読書への啓発活動などについて積極的な運営をしている。



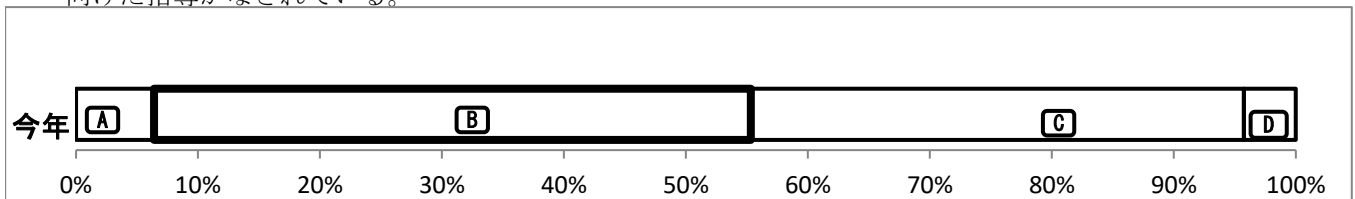
28. 緑高校では、PTA活動が適切に行われている。（総会の運営、研修会、講演会などの行事、委員会など）



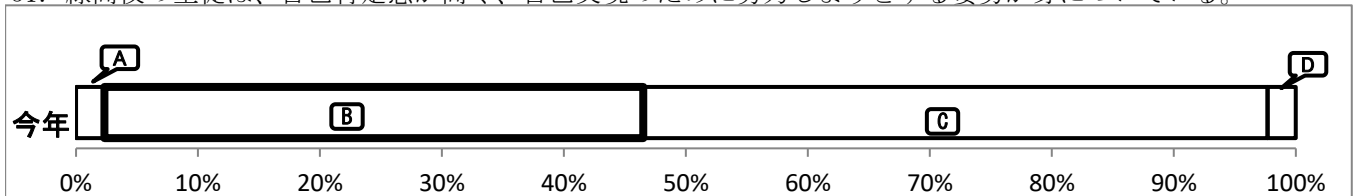
29. 緑高校の生徒は、物事に対して受け身ではなく自ら進んで考えたり行動したりする力が身についている。



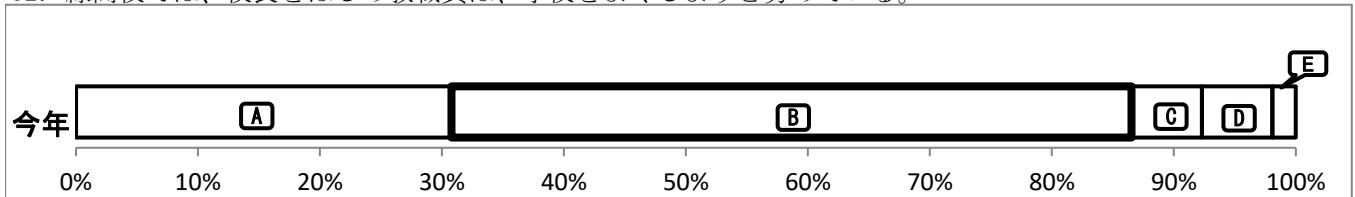
30. 緑高校では、PCやスマホなどのインターネット（ゲームやSNS等を含む）適切な利用に向けた指導がなされている。



31. 緑高校の生徒は、自己肯定感が高く、自己実現のために努力しようとする姿勢が身についている。



32. 緑高校では、校長をはじめ教職員は、学校をよくしようと努めている。



令和5年度学校評価アンケート（教員アンケート総括）

○ 実施期間 11月1日（水）～11月30日（木）

○ 出題形式 Google フォームでのアンケート集約

昨年度まで別様式でアンケートを実施していたが、今年度から保護者・生徒アンケートと同じ形式へと変更した。（従来アンケートの質問項目を追加）

○ グラフ部分の総括 各項目別にみていくと、以下のような結果となった。

【総務部】

- ・自校の取組に対して、多くの項目で一定の評価をしている。（質問 3.4.24.28）
- ・施設や設備のさらなる充実に取り組む必要がある。（質問 2）

【教務部】

- ・家庭学習の定着に向けて、学校全体として取り組む必要がある。（質問 5）
- ・授業や補充指導などの「学習指導全般」については 8 割近い評価で、パイロット校として継続的に取り組んでいる本校の授業改善・学習改善に対する一定の自己評価であると判断できる。（質問 7.8）
- ・校務支援システムの推進は評価しつつも、教育課程の編成や教務部としての学年会との連携や学校ビジョンの実現に向けた取組でさらなる充実が指摘されている。（質問 6. 9.10）

【進路指導部】

- ・自校の取組に対して、多くの項目で一定の評価をしている。（質問 12.13.14.15）

【生徒指導部】

- ・自校の取組に対して、多くの項目で一定の評価をしている。（質問 16.17.18.19）

【保健部】

- ・自校の取組に対して、多くの項目で一定の評価をしている。（質問 20.21.22）

【生徒会部】

- ・自校の取組に対して、多くの項目で一定の評価をしている。（質問 23.25.26）

【図書館部】

- ・自校の取組に対して、一定の評価をしている（質問 27）。しかし、保護者・生徒のアンケート結果の相違があるので、保護者・生徒への広報活動やより一層の活動の充実が必要であると判断される。

【学校全体として】

- ・自校の生徒が楽しく登校し、充実した学校生活がおくることができている、校長はじめ多くの職員が学校をよりよくしようと努めている、と自校の取組全体に対して評価しているものの、インターネットの適切な利用への指導や主体性や自己肯定感を高めることへの指導の必要性は共有できた。（質問 1.29.30.31.32）
- ・一部の質問項目を除き、若干の程度の差はあるものの、保護者・生徒のアンケート結果とほぼ同じような結果となった。これは本校職員と保護者・生徒で、目指しているものや体感として日々感じているものが同じであることの表れであると判断できる。ただ、その中でも個々の項目で充実すべきものや、喫緊の課題として本校が取り組むべき課題は明確であるため、一つ一つについて精査をしつつ、丁寧に、かつスピード感をもって、その改善や充実に向けて努めていきたいと考える。

○ 自由記述の総括

- ・週時程や教育課程の改善、生徒との個別対応の必要性、さらには働き方改革などについての意見が出された。学校全体で共有をしつつ、生徒・保護者、教職員はもちろんのこと、地域や社会にも必要とされるような、よりよいあるべき姿を目指して、緑高校のさらなる発展、魅力の向上に向けて、全職員で取り組んでいきたい。